

あかるく！つよく！たくましく！



教 育 指 針



教育の目的・方針・目標・内容
令和6年度 年間教育計画・課程
園生活ハンドブック



幼稚園型認定こども園

千歳青葉幼稚園



【ちとせあおばようちえん園歌】

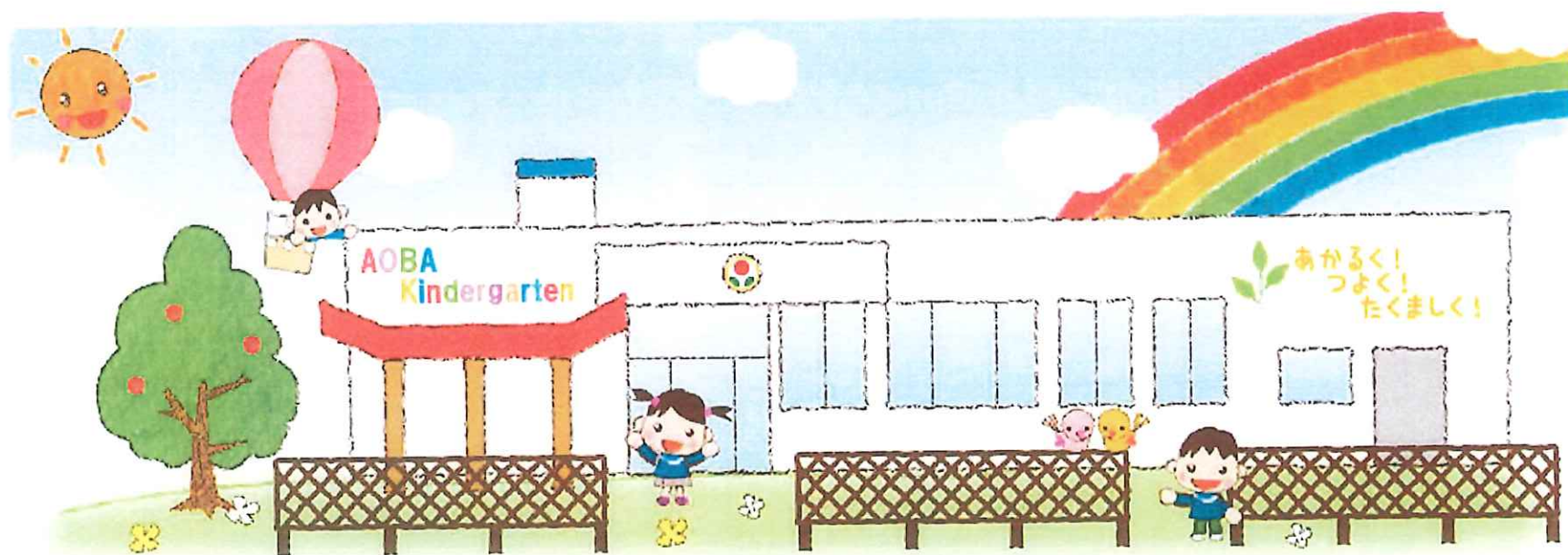
作詞 磯貝 清一郎

作曲 磯貝 照子

【1】みんなで おあそび うれしいな
きょうも なかよく げんきよく
あそぼう あそぼう あおばがおかに

【2】にしに たるまえ しこつこが
ちとせのかあに よどみなし
おおぞら あおぞら あおばがおかに

【3】あめにも かぜにも まけないで
ことりのように はばたいて
つよく のびよう あおばがおかに



千歳青葉幼稚園の教育

はじめに

本園も今年度で創立59年を迎え59回目の春、夏、秋、冬を迎えることとなりました。日々の幼稚園での生活、ただ漠然と子どもと遊び、「時」を過ごしているわけではなく、いろいろな場所、環境、時間、会話、ことは、様々な、子どもとの空間、準備、反省、それらに 何らかの教育的意図、よりよい成長の援助を付加させようと、目的なり計画なりをたて保育しています。

計画、予想される場面、願いはそのまま思いのままになるとは限らず、修正をしたり、再考をしたり、今までの事を踏まえた上で、今の状況を把握し、これから良い方向へと目標・計画を立てます。

そのような下地も一方通行ではカラカラ空回りしてしまう場合も多く、どのような意味で、……今の時期は……このような思いで……ということを経験して、共に子どもを見つめ、子どもに真剣に活動していく為、家庭との連携を一つとし、また、幼稚園の目的・方針・目標・教員の願いも理解していただくことも必要と思い、この「教育指針」を毎年度発行しています。

ここをもうちょっと……もうすこし……そこをなんとか……ということも日常多々あります。しかしながら、幼児期はあまりにも高度な事や物を要求するよりも、むしろ出来なかった事が出来るようになったり、いろいろな物に興味・関心を持ったり、生きている事に喜びを持って成長することに期待感を育むことが大切であり、基には人間愛を持って共に共感しあうということも基礎となります。

園歌のように、

みんなで遊ぶことに嬉しさを感じ

仲良く、元気よく、遊び

ことりのように、はばたいて

強く生きる子どもの育成に教職員一同心がけています。

◇教育の目的

教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、人間形成の基礎教育を施すことを目的とします。

◇方針

社会奉仕の精神に徹し

- (1) 教育の中正を保ち
- (2) 個性を助長愛護し
- (3) 集団に喜び
- (4) 根性のある

園児を育成する。

◇目標

- * 教育の基礎教育をする。
- * よき日本人、よき社会人となるための基礎教育をする。
- * 集団生活での躾をする。
- * 個々の能力を十分に伸ばす。
- * 自然に接する機会を多く与え、関心を持たせる。
- * 想像力、思考力、表現力を養う。
- * 運動機能の発達をはかる。
- * 感覚訓練を行い、集中力を養う。
- * 自立性、自主性を養う。
- * 物事に、ねばりと、しめくくりを養う。



教育内容

- * 各領域を盛り込み、年齢・発達段階に則した計画を立てる。
- * 子どもの活動意欲を盛り上げさせるような環境構成をする。
- * いろいろな経験の場を与え、身をもって体得する。
- * 教えこむのではなく、子ども自身の内にある能力を引き出す為に助力する。

学園創設の趣旨(昭和40年)

1. 初一念を貫き、人生に負荷された大任を開拓し、歴史を進歩させることを本旨とし、人生感とする。
2. 自力により公益事業を創業し、充実して国有に寄託することを本懐とする。
3. 教育の真の姿を擁護実現し、軌道の間を広める。
4. 地域社会における危険度の排除と教育網の不均等を是正し、次代を担う幼児に場を提供する。

以上、創設期の趣旨を挙げたのですが、わかりやすく説明しますと、

1. 現況を写す写真屋ではなく、創造する画家を目指す。
2. 人の力を借りず、私欲を持たない。教育の利益は人の成長である。
3. 事業家ではなく、ひとつひとつの積み重ねを大切に。
4. 必ず成長し次の社会・次代を担う子どもたちの為に、より安心して、教育の機会を均等に与える。

○学園基本理念

私たちは、子ども一人ひとりに最適な教育・環境を提供し地域から信頼される教育機関を目指します。

基本方針

- 1 一人ひとりの個性を尊重し、その成長に十分応えられる幼児教育技術の向上を心がけ、安全を第一に心のこもった幼児教育を提供します。
- 2 園児・保護者の声に耳を傾け、安心できる幼稚園を目指し努力します。
- 3 当園のスローガンである「あかるく！つよく！たくましく！」を基調に自然から学ぶ精神に基づいて、園児が快適な幼稚園生活を送れるよう適切な環境を提供し、園内の各教職員の協力により健全な幼稚園経営を目指します。
- 4 園児・保護者の知る権利と人権を尊重し、プライバシーの保護に努め、平等で差別のない幼児教育を目指します。

園児に接する態度

- ・ 「挨拶」を徹底します。
- ・ 元気で明るく、のびのびと生活できるように指導します。
- ・ 自分で考え、行動できる自主性・自立性を育てる努力をします。
- ・ 出来たことは、どんな些細なことでも褒めます。
- ・ 正しい叱り方を実践します。
- ・ 清潔な服装で接します。
- ・ 丁寧な言葉使いで接します。
- ・ ただの先生ではなく、子どもたちの「人生の先輩」としての自覚を持ちます。
- ・ 感謝の気持ちを持つように心がけます。

○行事について

幼稚園生活の自然な流れ

進級式・入園式から始まる幼稚園の一年間、通常の保育とは別に、お誕生会、種まき、運動会、発表会等々色々な行事があります。それはその日一日だけで始まり、終わるものではなく、その前後の過程や関連性が大切です。保育者も子どもたちも行事に追われて、ただ消化するために生活するのでは意味のないものとなってしまいます。

人々の生活にある催しや行事そのものは、地域によったり、風習によったり時代の流れと共にその形態が変わってきていても、人々の生活や暮らしの中で生まれ、人間としての豊かな生き方を求める営みとして育まれ、伝承してきた生活文化です。子ども達に関する行事、こどもの日、ひなまつり、七五三など、子どもの健やかな成長を願うと共に、子どもに夢や希望をあたえ、その日を迎える数々の準備は、人々に連帯感や集団で物事を行う大切さを培ってきました。

幼稚園でくりひろげられる色々な行事、儀式的な進級式、入園式、終業式、集団で喜びを感じたり、生きていることの素晴らしさ、楽しさ、嬉しさを共に分かち合うお誕生会、連帯感や達成感、研究心、自律心、想像力、進んで物事に取り組む力等々を培うことを目的にした運動会、発表会、創作芸術展、種まき等、季節を感じたり子どもたちの心に楽しさを誘い、思い出として次期の子どもたちに受け継がれる、七夕、おもちゃつきやクリスマス会等々の行事、子ども一人一人が主体となる意識を持って、子どもたちの生活の節目、育ちの節目、成長の証として、行事への取り組みも一方的に子どもに押しつけていくのではなく、園のために行うのではなく、技術指導の成果を競うのではなく、子ども一人一人が「たのしかった」「またやりたいね」「やったー！」という言葉の出る、何らかの教育的意図を持った、自身の気持ちに納得のいく生活の自然な流れの中で行事をおこなっていきたいと思います。行事の日程は行事予定表を参照してください。

○あいさつ日本一プロジェクト

あいさつ日本一プロジェクトを展開しています。

「あいさつ」

「おはよう」というと目がさめる
「いただきます」というとおなかがすく
「いってきます」というとげんきにいける
「ありがとう」というときもちがいい
「ごめんなさい」というとほっとする
「おやすみなさい」というといいゆめみられる
あいさつってうれしいな

（この詩の作者福島圭一郎さんは作成時愛知県乙川東小学校の1年生です）
不思議なことは「あいさつ」されると気持ちが温くなる「ことば」たった一言でもその小さな挨拶があるとその日一日が違ってきます。
無理やり教え込むのではなくまず大人がお手本となって、小さい時にこの習慣がしっかりと身に付くように生活の中で伝えていきます。それが日本一になるように努力しますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いします。

○お約束ごと

園内での色々な遊びや活動の中での「お約束ごと」を決めています。あっちの先生はいいって言うていたけど、こっちの先生はだめだよといった事の無いように、あたり前のことですがお約束ごとを決めています。

○自由遊び

◇ホール

- ・ ボールは蹴って遊ばない。
- ・ 積み木やブロックを投げて遊ばない。
- ・ 高く積み上げたブロックの上には登らない。
- ・ 各学年、廊下、出入口付近、玄関では遊ばない。
- ・ ホールのおもちゃは、お部屋に持ち込まない。
- ・ ボール入れや積み木入れに入って遊ばない。
- ・ 廊下は走らない。



◇屋内外の安全のために

- ・ 日ごろの指導
廊下を走ったり高い場所でふざけあつたりすることが、どのような危険につながるかを具体的に説明し、理解させます。また、危険な場所に注意し、確認する習慣をつけさせます。
- ・ 身軽な服装で
巻きついたりひっかかったりしやすい、ひもや長いリボン、かばんなどを身につけたまま遊ばないようにします。
- ・ 遊びのルール
順番を守る、安全な距離を保って待つ、お友達を押さない、しっかりつかまる……などの基本的なルールを徹底して指導します。
- ・ 安全な遊び方を指導
危険な行為を単に禁止するだけでは、かえって興味を喚起させる場合もあります。「なぜしてはいけないのか」「どんな危険があるのか」を明確に理解させるようにし、安全な遊び方を身につけるよう指導します。
- ・ 子どもたちの行動には常に目配りします。
子どもたちの自主性を養う意味からも、口や手の出しすぎは加減しますが、目だけは常に子どもたちの行動から離さないよう心がけ、行動の途中で怖がったり、体勢を崩したりした子どもをすぐに補助してあげられる位置に待機し、ふざけあいが行き過ぎたものにならないように気を配ります。
- ・ 教材・用具の安全性の確認
使用する用具・場所等に不備・危険がないか事前に確認します。
- ・ はさみ等鋭利な教材・教具の安全な使い方を園児に指導するとともに、保管にも万全を期します。

◇交通指導

- ・ 全園児集合の朝の会等で紙芝居をしたり、お話をしたりして交通安全指導しております。ご家庭でもご指導の程、よろしくお願いいたします。



◇防災・防火指導

- ・ 地震や火事の際、どのような行動をすれば良いのか、避難訓練等を行い消防車を呼んだり、職員による消火訓練をしたり、お話をして防火・防災意識を高めます。
- ・ 防火パレードも実施しています。*令和2~4年度は感染症予防対策の為未実施



◇感染予防対策

・手洗いの励行

いまだ完全収束の兆しが見えない感染症の感染防止措置と衛生教育の一環として園生活での手洗いの啓発をおこないます。ご家庭におかれましても、ご協力をお願いします。



マスク着装につきましてはご家庭での判断に委ねします。

○各学年・くらすの年間計画

幼児は、3歳の幼児と5歳の幼児では、精神的にも、身体的にも当然、差があります。

同年齢の学年として活動すること。異年齢の幼児達が一つに行動(たとえば行事、集団遊び、自由遊び)をすること。どちらも成長の過程においては目標なり、ねらいを立てることによって大変有意義な物となります。その際、ただ漠然と活動をするのではなく、子どもたちの予想される心情なり行動、また幼稚園として保育者として、どのように……どんな想いで、よりよい方向に導いていきたいかを位置づける必要があります。

子どもたち、その年その年によって、その構成状況によってでも大なり小なり異なる場合もあります。人間は感情の動物です。時により気分により、良い事、悪い事、善と悪よりも、好きな事、嫌いな事、難しい事、易しい事という判断基準になる時もあります。それらをうまく調合し、知識ばかりではなく知恵をつける事も大切だと思います。

計画だからといっても、子どもにもプライドがあります。なにもかにも無理矢理その幼稚園なり保育者の立てた計画に沿わせようとすると、その時、その場だけは良くて、永いものの考え方をすると自律心等を養うという面においても、決して良い事とは思いません。

進んで物事に取り組む姿勢、どうしてかな?と思う探求心、知的好奇心、達成感、成長への期待等を活動の中で身につけてもらいたく、子どもの姿を思い浮かべながら計画を立てました。

各学年により年齢に応じ何期かに分け節目を付けています。その時の子どもたちの様子、今までを踏まえたこれからの活動について節目、節目に見直したり、付け足したりしていこうと思います

令和6年度 幼稚園としての主題 令和5年度継続

- ・きもちのいい「あいさつ」をしよう!
- ・自然に親しみ、自然から学び考える力をつけよう!
- ・お話を聞く力と考える力を養おう!
- ・いろいろな発見や体験を通して、仲間の大切さを感じよう!
- ・やってみよう!
- ・てあらいをきれいにし て びょうきをよぼうしよう!

各学年・クラス・主な指導課程・要点

2歳～満3歳児…安全な環境の中で、自分の思いを表し、受け止められる安心感の中で園生活を楽しむ。

年少…園生活の流れや生活の仕方を知り、自分で身の回りのことが出来る。
遊びや生活の中にきまりや約束があることを知る。

年中…園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組み、
日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。

年長…年長児としての意識をもち、
友だちと協力したり挑戦したりする力を養う。

異年齢児……異年齢の子どもたちが、その年齢差の中でふれあう事により、伝え合ったり、真似したり、色々な体験や経験を積み、広げ、そのなかで自分を見つめ、相手を知りながら、自立と自律を学びとっていく。



○園活動における教材・教具

- ・お絵かき・絵画……基本的にはクレヨンを使用しますが、年齢・ねらい・目的等、必要に応じ、水彩絵の具・ポスターカラー等も使用します。
- ・ワーク類……その年により、年齢に沿った(例えば、年長＝もじとかず等)ワーク類を無理のないように取り組んでいきます。
- ・造形・工作……折り紙・粘土遊び・工作遊び・廃品を利用した工作等、創作意欲を伸ばし、達成感なり、手先の技術の向上を促します。
- ・楽器・器楽……幼児期ならではの感性を育てるために高度な演奏を求めるのではなく、年齢に応じた音楽＝音を楽しみ、体でメロディー、リズム、テンポを感じ、音楽・楽器に対する興味、関心をもてるようにします。
- ・表現・遊戯においては……生活する上での音楽の大切さ、楽しさ、それを身体で聞いて表現する素晴らしさ、豊かな表現力、反応力を伸ばすようにします。
- ・体育用具……身体を動かす事の楽しさ、身体運動機能の発達への助長、反応性、運動機能のタイミング等を、色々な体育用具を使って安全を確保したうえで楽しみながら行います。

個人教材について

消耗品のクレヨン・のりにつきましては、基本毎年度新しい物を用意いたしますので、ご了承ください。(ろうの劣化、品質保持期限等のため)



幼稚園は就学前の幼児を保育し、整えられた環境の中で心身の発達を助長愛護し、望ましい人間育成の基礎作りをおこなう初めての組織だった教育をする機関でございます。そのため、幼児の安全を考え発達に応じた教育的な環境作りを心がけ、色々と工夫します。「あかるく! つよく! たくましく!」をスローガンに挙げ、テーマは「自然」とし季節や自然とのかかわりを大切に「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」を軸に子どもに共通する一般的な傾向を押さえ季節や自然とのかかわりを大切に想像力豊かな、そして目の輝きのある子どもの育成に努力していきます。

年度初め学期初めの行事近くの保育時間について

保育資質の向上のため、行事等に際して子どもたちの疲労度等を考慮し適切と思われる場合は職員会議等で決定し行事予定を変更し午前保育にする場合がありますのでご理解ください。降園時間については「えんだより」の行事予定でご確認ください。

カリキュラム…特徴

*「英語」…外部ネイティブ講師担当

全学年・各学年・クラス毎と全園児対象に「えいご」の時間を設け「英語」に親しみ興味関心を培うカリキュラムを設けます。

*合同保育

多くの子どもたちとのふれあいや発見の機会を多くするため学年・異年齢児との合同保育の機会を多く設けます。

*体育・健やかな体づくり

お外遊びを多く取り入れるとともに年間を通じて公園等に出かける園外保育を取り入れます。健やかな体づくりとともに社会でのマナーも身に付ける努力もします。

*社会性を養う

園外保育・パレード等で施設や公共の場でのルールや常識を覚え、社会性を養う努力をします。

音楽関係

*年長

ハーモニカへの取り組み

*年中

すずへの取り組み

*年少

リズム遊び・カスタネットへの取り組み

*食育

食に関するお話を全体会等の場を通じて子どもたちに伝えます。

*見える保育・気づく(築く)保育

今、どのようなことに子どもたちが取り組んでいるのか、どのような活動をしているのか、明確にわかる展開に心掛けます。具体的には季節を感じに園外に出かける予定です。

*自然教育

自然に触れ感じる機会を設け興味、観察、想像力を養います。



年長組

指導の要点(年間) 年長児としての意識をもち、
友だちと協力したり挑戦したりする力を養う。

	4・5・6・7月	8・9・10・11・12月	1・2・3月
内容(育んで欲しい点)	- 自分の気持ちや考えを伝え合いながら、集団で過ごすことの楽しさ・協力することの大切さに気付く。 - 基本的な生活習慣・挨拶を身に付け、自ら進んで取り組めるようになる。 - 身近にいる人たちの優しさ・愛情を改めて実感し、感謝の気持ちを相手へ表現できるようになる。 - 園生活での決まりを確認し、進んで守る。 - 安全に気を付けて遊具や道具を正しく使う。 - 自然や自然界の生物(虫・鳥等)に関心を抱く。	- みんなで一つの目標に向かって活動に取り組むことで、集団の中での自分の役割に自信と責任感を持つ。 - 失敗を恐れずに、何事にも挑戦してみようという気持ちを育てる。 - 経験したこと・想像したこと等を様々な方法で表現する。 - 一人ひとりの個性や違いを認め合いながら、お互いの意見を伝えられるようになる。 - 公共の場でのルールやマナーの必要性に気付く。 - 自然に触れることで季節の移り変わりを感じる。	- 安定した友人関係の中で相手を思いやり、助け合いながら充実した園生活を送る。 - 自分たちで考え、活動に見通しをもって取り組む。 - 文字や数に興味を持ち、積極的に使ってみようとする。 1年間を振り返り自分たちの成長を感じていく中で、お互いを認め合い、就学への自信に繋げていく。 - 雪や氷に触れ、冬ならではの遊びを楽しんだり、自然の不思議を感じたりする。
指導の観点	- 母の日製作 - 父の日製作 - 運動会 - 園外保育 - プール遊び - 戸外遊び - スタday(ワーク)	- 畑の観察 ・戸外遊び ・園外保育 ・運動あそび - 収穫・カレーパーティー - おとまり会 ・発表会 - スポーツday - スタday(ワーク) ・ハーモニカ - 絵本の読み聞かせ ・敬老の日製作	- 戸外遊び ・スタday(ワーク) - ハーモニカ ・園外保育 - そり遊び ・氷遊び - まめまき - お別れ会 ・小学校交流 1日入園 ・卒園式
環境	- 園での決まりやルールをお友だち同士でも伝え合えるよう、わかりやすく明確にしたり、その都度確認したりする。 - 一人ひとりが運動会の取り組みへ意欲的に参加できるように、達成感を味わえるような目標を個々に定める。 - 日頃の感謝の気持ちを伝える機会となるよう、母の日・父の日製作へ丁寧に取り組む。 - 戸外遊びや園外保育を多く設定し、自然と触れ合える機会を設ける。	- クラスが一体となって取り組めるよう、発表会の役決めや振り付け等に子どもたちの意見をくみこむ。 - 製作においては、子どもたちのイメージを大切にしながら、目標に向かって考えたり、工夫したりして進められる環境を整備しておく。 - 運動あそびに必要なルールや遊び方について友達と一緒に考えながら相談する過程を大切に育てていく。 - 身近な動植物について知り、触れたり観察したりすることで親しみを感じながら表現の豊かさと繋げられるような取り組みをする。	- 年長児としての自覚と誇りを持ち、就学へ向けての期待が高まるよう、今まで取り組んできた活動をみんなに発表できる場を設ける。 - 卒園式が1年間のまとめとなるよう、真剣に練習できる環境づくりに努める。 - 残り少ない園生活をお友だちと充実したものにしていけるために、日常の保育内容から考慮していく。 - ソリ遊びや雪遊び等、子どもたち同士で遊びを展開していけるような環境を整える。 - 園外保育や市民プールでの活動を通して、公共でのマナーや挨拶をしっかりと身に付けていけるようにする。

年中組

指導の要点(年間)

園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組み、
日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。

	4・5月	6・7・8月	9・10・11・12月	1・2・3月
内 容 (育 ち の 目 的)	- 幼稚園でのルールや生活の仕方を覚え、園生活に慣れる。 - 基本的な生活習慣を身につける。 - 挨拶や言葉づかいの大切さを感じる。 - 新しいお友達や保育者に親しみをもち、様々な活動や遊びをおこなっていく中で安心や心地良さを感じる。 - 戸外で草花や生き物を見たり、触ったりすることで、季節を感じる。 - 物の大切さに気づく。 - 様々な体験を通し好奇心を養い、よく見る、よく聞く、よく考える力を身に付ける。	- 自分の思ったことを行動・言葉で表し、相手に伝えていく。 - お友達と体を存分に動かし、戸外や自然の中でのびのびと遊ぶ。 - 夏ならではの遊びを楽しむ。 - お当番活動を通して自分の役割に誇りと責任を持ち、意欲的に取り組む。 - いろいろな素材に触れ、使ったり作ったりして遊ぶ楽しさを知る。 - 興味を持ったことに積極的に関わる。	- 自分のイメージしたことを言葉や動きで表現し、音楽に親しみをもちリズム遊びを楽しむ。 - お友達から刺激を受け、自分なりの表現をしようと工夫し、創造力を養う。 - 遊びや活動に対し「～したい」、「～しよう」と目的を持って取り組む。 - 食物の大切さを感じる。 - 秋の植物・生き物を肌で感じ、季節の移り変わりに気付く。 - 様々な活動の中で試したり工夫したりすることで考える力を養う。	- 保育者やお友達との繋がりを深め、安心して園生活を楽しみながら進級への自信と期待を持つ。 - ルールのある遊びを通して、お約束やルールを守ることを心掛ける。 - 冬にしかできない遊びを通して自然の不思議に興味・関心を持ち、考える。 - 沢山の友達と関わることで、一人ひとりの違いや個性に気付く。
指 導 の 要 点	- 園生活のルールや過ごし方に気づける活動、おはなし・手洗い・水分補給の習慣化 - 戸外遊び・たねまき・母の日製作 - スタ day(ワーク) - 交通安全教室 - 園外保育	- 畑の観察・運動会 - プール・水遊び - 父の日製作・七夕会 - 園外保育・リズム活動(すず) - お当番活動の実施・スタ day(ワーク) - シャボン玉遊び	- 園外保育・落ち葉、木の葉拾い - 収穫・収穫カレーパーティー - 発表会・リズム活動(すず) - クリスマス会・おもちゃつき・敬老の日製作 - 運動あそび・スタ day(ワーク) - 園外保育	- 雪遊び・ソリ遊び・氷作り - 年長へ向けての取り組み - 一日入園・お別れ会 - まめまき・ひなまつり会 - ひなまつり製作・スタ day(ワーク) - 園外保育
環 境	- 遊具の使い方やきまり、バスやお部屋でのお約束について、実演を交え確認する機会を持つ。 - 草花や生き物に興味を持てるよう、図鑑を持って戸外活動を行う。 - 戸外、園外活動では事前に下見を行い、危険がないか及び、季節を感じられるものがあるか等確認しておく。 - 製作に使用する道具の使い方をみんなで確認し、正しい方法で使えるようにする。また、物に対して愛着を持ち大切に使えるような声掛けを行う。 - 一人ひとりが安心して生活できるように遊びの様子をよく見て心の動きをとらえる。	- お友だちとトラブルが起きた時には、保育者が間に入り、お互いの気持ちが伝わるよう聞いたり、伝えたりする。 - 運動会をみんなで成功させようという気持ちを高め、協力していく楽しさを感じていけるような雰囲気づくりに心掛ける。 - お当番活動では、責任感を持ち意欲的に取り組めるよう、内容・目的を明確にする。 - 身近な自然や生き物への関心を深められるよう、一緒に観察したり調べたりする。 - 気温・水温に十分留意し、安全に配慮する。 - 遊びに工夫や変化が持てるよう、素材の種類や量に配慮する。	- 子どもたちがのびのびと表現できるよう、事前準備・環境整備をしっかりと行う。 - 楽器に触れ、音が出る不思議や楽しさを感じ、積極的に取り組めるようにする。 - 散歩や園外保育の機会を増やし、季節の移り変わりなどを感じられるようにする。 - 園外保育では事前にお約束を確認し、公共の場でのルールを守るよう心掛ける。 - 相手の意見を聞き入れ、理解し互いに協力していけるような場を作る。 - 食べ物ができるまでの大変さを知ると共に、収穫への喜びを感じていくことで食育への関心を高めて行けるようにする。	- 天気の良い日には積極的に戸外遊びを取り入れ、雪や氷などから自然の不思議を見つけ、自分なりに考えを深めていけるようにする。 - 年長児の活動を紹介するなど、進級へ向けて期待が高まるような活動を取り入れる。 - ルールのある遊びを設定し、実演を交える等わかりやすい説明を心掛ける。 - 様々な体験の中で進級への期待を高めていけるよう一人ひとりの様子を把握し、目標に応じた声掛けを行い、その成果を認めることで年長に繋げていく。

年少組

指導の要点(年間)

園生活の流れや生活の仕方を知り、自分で身の回りのことが出来る。
遊びや生活の中にきまりや約束があることを知る。

	4・5月	6・7・8月	9・10・11・12月	1・2・3月
内 容 (進め方・内容)	・入園を喜び、明るく元気に登園する。 ・自分のクラスを知り、担任やお友だちの名前を覚えながら親しみを持って過ごす。 ・一日の生活の流れを知り、安定した気持ちで毎日をすごす。 ・身の回りの始末や排泄を保育者と一緒に行うことで安心して取り組む。 ・園生活に慣れ、落ち着いて集団での活動に参加する。	・生活に必要な身の回りのことがわかり自分でしようとする。 ・戸外遊びや園庭での水遊びで体を存分に使い、自然に触れ親しみを持って遊ぶ。 ・自分の好きな遊びを見つけ楽しみながら、保育者や友達との関わりを喜ぶ。 ・自分の考えや思いを自分なりの言葉や表現で伝えようとする。	・身の回りの始末、排泄、手洗い、うがいなどの手順や意味を理解し、自ら進んで行おうとする。 ・落ち葉や木の実を使って遊ぶことで季節の移り変わりを感じ、自然に親しみを持つ。 ・運動会では協力することの楽しさ、体を動かすことの楽しさを覚える。 ・発表会では自分なりのイメージを膨らませながら、みんなで協力し完成させる喜びを感じる。	・基本的な生活習慣が身につき、自分から進んで身支度を済ませる。 ・戸外での雪遊びを全身で楽しみ、元気で健康的な体作りを育み活動的に過ごす。 ・集団での活動に楽しみを持って参加し、約束事を理解しながら、自分の気持ちを言葉に出して表現する。
活 動 の 場 所 (進め方・内容)	・ホール、戸外遊び ・ふれ合いあそび ・母の日製作 ・手洗いの習慣化 ・たねまき ・リズム遊び(年間)	・運動会・園外保育・戸外遊び ・プール遊び ・運動遊び・七夕会 ・父の日製作	・戸外遊び・収穫 ・カレーパーティー ・発表会・園外保育・おもちゃつき ・クリスマス会	・雪遊び ・おしりすべり ・ホール遊び ・1日入園 ・まめまき ・ひなまつり会
環 境	・新しい環境での生活に不安や緊張を抱き、泣いて保護者と離れるのを拒むことも、不安な表情の子どもたちには安心して登園できるような保育者の態勢をとる。 ・靴箱やお道具箱など身の回りの物に一人ひとりのマークをつけ、食事・排泄・着脱・持ち物の整理を繰り返し行っていきスムーズに取り組めるようにする。 ・子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して保育者やお友だちと関わり合えるような環境作りをする。 ・集会等の待ち時間は最小限にする。	・挑戦していく気持ちや出来るようになったことを受け止め、自分から自信を持って考えながら行動に移せるよう声掛けを行う。 ・集団の中で遊ぶことで遊具の使い方や約束を覚え、仲良く遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・天候や気温、水温に留意し環境・体調面での安全に配慮する。 ・子どもの気持ちや言葉に耳を傾け、自分の思いや困っていることを保育者に伝えられるような雰囲気作りをする。	・身の回りの事ができるようになった子は、成長を認めていく。個々により必要に応じて手助けしながら、少しずつ自分で考えながら挑戦していけるように援助する。 ・園内外で自然に触れ合うことのできる機会を設け、より自然に親しみを感じていけるようにする。 ・お手本を参考に様々な形をとらえて描いたり、作り上げる達成感を感じていけるようにする。又、音楽に合わせ歌う、踊るなど、伸び伸びと体を動かしながら楽しんで表現していける環境づくりを心掛ける。	・個々に合った生活習慣の指導を心掛け、できるようになったことへの喜びを一緒に共感し成長を認めていく。 ・冬ならではの遊びを多く取り入れ、寒さに負けず、体を思いきり動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・子どもたち一人ひとりの成長を認め合う中で、年中組に進級することへの期待と自覚が高められるようにする。

ふれぐみ・ちゅーりっぷぐみ 指導の要点(年間)

安全な環境の中で、自分の思いを表し、
受け止められる安心感の中で園生活を楽しむ。

	4・5月	6・7・8月	9・10・11・12月	1・2・3月
内容(育んで欲しい点)	・新しい生活の場や園生活のリズムになじんでいく。 ・自分のシールマークや持ち物の場所がわかる。 ・丸める、ちぎるなど、手や指先を使った遊びを楽しむ。	・安定した生活リズムで落ち着いて過ごす。 ・夏ならではの遊びに興味を持ち、伸び伸びと楽しむことができる。 ・自分のものと他の人のものの区別がつき自分のものを片付けようとする。 ・友達の間わりの中で、相手の気持ちにきづいていく。 ・考える機会を多くつくる。	・身の回りのことを自分でしようとする意欲が高まってくる。 ・落ち葉や木の実などを遊びに使い、季節を感じながら、楽しむことができる。 ・いろいろな行事や遊びを通して、友達との関わりを楽しむ。	・身の回りのことが、少しずつ自分でできるようになった喜びを感じながら、進級することへの期待をもつ。 ・寒さに負けず、伸びのびと、雪遊びを楽しむことができる。 ・基本的な生活習慣が身につき、進級への期待をもって生活する。
指導の要点	・ホール、戸外遊び ・こいのぼり製作 ・母の日製作 ・探検ごっこ ・たねまき ・行事への参加 ・手洗いの習慣化	・園外保育 ・運動会の練習(見学) ・プール遊び ・散歩 ・父の日製作 ・行事への参加	・ホール、戸外遊び ・行事への参加 ・発表会の練習(見学)	・雪遊び ・ホール遊び ・一日入園 ・まめまき ・ひなまつり
環境	・一人ひとりの発達状況に合わせた生活の習慣づけをしていく。 ・靴箱、お道具箱などに一人ひとりのシールマークをつけ、自分の場所がわかりやすいようにしていく。 ・新しい環境に馴染んでいけるよう、様々な配慮を心掛ける。 ・ゆったりと関わる中で、少しずつ生活リズムをつくっていく。	・友達とのやりとりを見守り、その場に合った言葉かけをしていくとともに考える時間を与える。 ・水遊び、プール遊びの時には、健康状態に十分配慮する。 ・散歩のとき、夏の草花を見たり、摘んだりして自然に親しむ機会を作る。	・自分でしようとする気持ちを受け止め、焦らず、ゆったりと見守っていく。 ・子ども同士の遊びをつなげながら、時折その場を離れ、子供達だけであそぶ様子を見守っていく。 ・ごっこ遊びや絵本、紙芝居をたくさん取り入れ、いろいろな言葉にふれ、言葉を豊かにする。	・できるようになったことを喜び、共感し、自信が持てるようにする。 ・一人ひとりの子供の成長を見直し、遊びに対する興味の持ち方や、友達との関わり方などを確認しておく。 ・進級に期待と安心感を持たせるために他クラスとの交流の機会を増やしていく。

おしらせください！

幼稚園から帰ってきて、みょうに元気がなかったり、幼稚園から連絡はなかったけれど怪我をしていたりしていた場合は、まことに恐縮ですが担任までご連絡ください。保育中はもちろんですが、朝、登園してきたとき、降園する際、視診や声がけをしています。もし「あれっ!」と思うことがありましたらおしらせ願います。

園服

朝のお並びの際は**園服着用**です。毎日、**園服**を着せ登園させてください。

幼年消防クラブに加入しています。

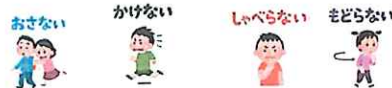
避難訓練等を通じて地震や火災の恐ろしさ安全な避難の方法等を伝えます。

名札



防犯面の意味で名札を着用しないということもありますが幼稚園児は名札を付けている際は身近な大人が側にいるという観点から当園では名札着用です。

裏の紙に保護者名・住所・電話番号等の記入欄がありますので、ご記入願います。



ひよちゃんくらぶ

ひよちゃんくらぶ(お母さんと一緒に未就園児クラブ)

子育て支援の一環として未就園児を対象に親子遊び・手遊び・わかりやすい保育をおこないます。入園前の保護者、子ども達に集団活動の楽しさや、子育て情報の発信をしています。

今年度も5月中下旬からを予定していますので、お気軽にお問い合わせください。原則水曜日午前中おこなっています。参加料は無料です。



防犯面の強化



最近報道等で頻繁に起きている不審者の対応として園舎内で保育している場合は施錠し、玄関にモニター・各要所にブザー・屋外に聞こえるベル等を設置しています。夜間管理についてはセコムを導入しています。また悪質な園舎侵入者に対する防犯用警退機器を備えています。(どのような物かは秘密ですが強力な物です) 備品面だけではなく防犯について全体会等を通じ子どもたちに危険察知できるように啓発をして職員間での防犯訓練を心掛けていきます。基本的に玄関は施錠していますので、その際はインターホンで園舎内と連絡を取ってください。

保護者IDカード



送り迎えの際に園側として保護者の方にお子さんを引き渡す時、日頃面識のありますお母さんや保護者の方ですと安心して引き渡すことができるのですが、面識のない保護者の方ですと不安を感じます。**日頃面識のない保護者の方の証**としてIDカードを示してもらえば、より安心安全を確保できます。日頃面識のない保護者の方がお迎えされるときは是非ご提示ください。

もしもの時の合言葉 全国的に不審者が多くなる中、現在の対策に加えて、もし不審者等が園敷地内および周辺、最悪の状況として園舎内に確認された場合は職員間の情報共有・安全確保(徐々に園児にも伝えます)のため合言葉を決めました。仮にもし行事の際等で保護者の方々が園敷地内・園舎内にいらっしゃる場合にも有効ですので合言葉をお知らせします。合言葉は本年度も**ハイキング**です。放送を利用する場合は例えば「みなさん**ハイキング**の時間ですよ」「明日は**ハイキング**したいね」等々 **ハイキング**という合言葉を覚えていてください。

フッ化物洗口



年中・年長児対象に健康な歯の育成のために当園では石狩管内でも先駆けて希望する園児を対象にフッ化物洗口を実施しています。開始時期は6月からです。費用は年間 1,000 円です。1 日保育日の火曜日・木曜日に音楽に合わせ約 1 分間のブクブクうがいをおこないます。実施時期に近づきましたらご案内いたします。

原則月1回 おべんとう



原則、月 1 回食育の日が「おべんとう」です。***えんだより**行事予定表でお知らせいたします。偏食等をなくす意味で、また事情で全食「給食」という考え方もありますが、一番大切な幼児期、好き嫌い等を誰よりも良く知っている、お母さんの愛情のこもったお弁当をよろしく願いいたします。

偏食をなくす意味でも嫌いな食べ物を徐々に加えたり、その子の食べられる量を加減したり全部食べきれたという達成感や充実感、友達みんなと食べる楽しさ等々、幼児期にとってプラスな面はいっぱいあります。はじめて家庭を離れ家庭と幼稚園を結ぶ線でもあります。

幼児期に食べた「おべんとう」こどもの身体の成長や精神的面や親に対する感謝の気持ち、いつまでも身につけてきます。お母さんが病気になった時にお父さんが作ってくれたお弁当。いろいろな工夫をしてくれたお弁当。愛情がなによりの調味料です。

給食について

簡易給食(菓子パン、ジュース等)ではない・アレルギー対応している・実績がある「ユニオン給食」と契約しています。給食回数・料金につきましては巻末に載せています。毎月の納付金口座振替についてをご参照ください。

給食業者

ユニオン給食 <http://www.union-s.jp/kindergarten.html>



アレルギー等

調査表等で確認していますが、面接等の際に伝えていない・調査票に記入していない食物・動物等のアレルギー等がありましたら、速やかにお知らせください。



個人情報

当たり前のことですが、園業務の中での個人情報は漏えい致しません。情報に関している廃棄書類につきましてはシュレッダーで粉碎処理しています。ホームページで子どもたちの様子を伝えています。その際、写真掲載でお子さんの写真が載る場合があります。お子さんの写真掲載を止めてほしい場合は幼稚園までお知らせください。



配布物

配布物・印刷物等につきましては、兄弟・姉妹等と一緒に通園している場合、同一内容の書類等は上のお子さんに一通渡しますのでご承知おきください。個々に必要がある場合は個々に配布します。また出来る限り園日より等で配布したことをお知らせします。



子どもの呼び方について…教職員

教職員が園児を呼ぶとき、出席を取るときは「あだな」ではなくお名前の通り「～くん」「～ちゃん」で呼びかけるようにしています。一部の子供だけではなく全員共通した呼び方等々の理由によるものです。子供同士呼び合うことはかまわないのですが親しみの偏り等を子どもたちに感じさせないという意図もあるので距離を置いている、よそよそしいということではないので、ご理解ご承知おきください。



恐縮ですが

職員会議中にお電話をいただいたとき、預かり保育お迎えの際等に職員会議をしている場合、保育内容の確認、打ち合わせの徹底のため、緊急の場合を除き、担任・担当が出られず、後ほど園より電話をお掛けする場合があります。必ず、掛け直しますので悪しからずご了承ください。

* 緊急の場合は、その旨お伝えください。



個人懇談について

よりよい幼稚園生活のため、園での様子、ご家庭での様子等につきまして、期間を定めて希望する保護者の方と担任との個人懇談をおこないます。保護者からの要望、園から伝えたい事などありましたら、必要に応じ懇談いたします。



アプリを運用しています。

園よりおしらせ・連絡・通園バス運行状況を携帯電話にお知らせし、保護者の方からは欠席・遅刻・早退等の連絡を受ける事に活用しています。

保護者の方よりの預かり保育の受付・トレーニングウェア等の注文、写真の注文等にも活用しています。

- ・個人情報保護の観点上発信・運用は職員のための操作とします。
- ・保護者間の連絡等には使用しません。
- ・運用の簡素化を図るため目的以外の内容を記入しないようにお願いします。

登園・降園について

朝の園児登園開始時間は8時30分からです。日直の職員は7時00分からついていますが、アプリの対応、保育準備に当てています。子どもが園内にいても安全管理等に注意を払いかねませんので保護者の送りによる園児登園開始時間は原則として8時30分以降にお願いします。8時30分以前登園の場合は朝いちご課金となります。

次のような場合は朝7時40分までにアプリに登録をお願いします。

- ・当日、病気・私用欠席する場合
- ・バス通園の子どもが保護者の送りで登園する場合
- ・早退の場合には早退時間も備考に記入をお願いします。

欠席について

連絡なしの欠席で、理由が解らなく、幼稚園から連絡をしてもつながらない場合は、こどもの安全確認・確保のため関係機関(行政・警察等)に連絡する場合があります。欠席の場合は必ずご連絡ください。

お迎えについて

バス利用のお子さんをお迎えにする場合、また当日の預かり保育を希望の場合は午前10時までに**アプリ**に登録をお願いします。

アプリ事前受付

欠席予定がある場合・いちごクラス希望・バス利用者でバス不要・お迎え等が数日前より決まっている場合は事前に**アプリ**登録できます。

お知らせ等にも活用します

紙の省資源化・周知確認等の為に**アプリ**を活用します。
園からのお知らせ等**アプリ**が知らせたときにはご確認・開封をお願いします。

体調不良による欠席状況

アプリで欠席状況等が確認できます。ニュース等で風邪・インフルエンザ等の感染症の報道がされたときに発生状況はどうか気になるところです。風邪・インフルエンザ等の流行時に参考にしてください。

お迎え時間について

お迎え時間については午前保育の場合は12時までに一日保育の場合は15時までにお迎えいたします。職員配置の都合上、上記時間を過ぎますと「いちごクラス」（預かり保育）に入れさせていただきますのでご了承ください。

* 預かり保育料が発生します。

お迎えの際には必ず職員に一声かけてください

降園時、保護者の方がお子さんを連れて帰る際は必ず担任もしくは職員にお伝えください。

- ・保護者の方が所用のため代わりにお知らせ・知人等がお迎えの際は、その旨を事前に保護者の方から幼稚園に伝えてください。
- ・日ごろの面識と調査票の写真等で保護者の方の顔は覚えるように

努力していますが、不明の場合はお尋ねすることがあります。
事故防止の為にことなのでご気分を悪くされずにご理解ご了承ください。

バス通園について



どうしても時刻表どおりに運行できない場合もあります。（天候・道路状況・その他の事情等）交通事故防止のため安全運行しますので、ご理解願います。
概ね10分以上の**事前に遅れが予想される場合は**アプリ**でご家庭へ通知します**

バス停の子どもが欠席の場合でもバスコースどおりに運行します。
またバス待ちの際のマナー、バス到着、発車直前直後の小さいお子さんの安全管理よろしくお願いします。

バスコース

安全にお子さんをご家庭から幼稚園に迎え、幼稚園からご家庭へ送る目的のため交通安全・運行時間等を考慮してバスコースを編成しています。

コースによっては、ご自宅から離れたバス停になることもあります。上記理由のためご了承ください。

連絡なしでバス時刻にバス停に居なかったり、遅れたりしますとその後のバス時刻が遅れ時間通りに待っている方に迷惑がかかりますので時刻どおりをお願いします。時刻になってもバス停にいらっしゃらない場合は発車します。

* どうしてもちょっと遅れそうな場合は出来るだけ対応しますので事前に幼稚園までご連絡ください。

荒天・冬季バス時刻について

降雪・降雨による悪路面・視界の低下・交通事故による渋滞の場合は必然的にバス時刻が遅れることがあります。

ご不便をおかけしました折には**安全第一**の上でのことなのでご理解・ご了承下さい。

事故防止のため注意していただきたいこと

- * バス到着・出発の際には小さなお子さんから目を絶対に離さないでください。特に吹雪等になりますとバスは視界が著しく悪くなるのに加えて事故防止の為、後続の車が気になります。小さなお子さんはバスに近寄りがちですのでご注意ください。
- * 原則としてコース変更・バス停変更はしませんが除雪作業・工事等の止むを得ない場合は迂回することがあります。
- * 連絡がない場合は時間まで待機していますが、著しく交通の妨げになる場合は時間後確認し出発します。乗車しない場合、欠席する場合はできるだけ早めに**アプリ**にて連絡ください。
- * お願い…出来るだけ携帯電話所持で送り・お迎えをお願いします。

冬の悪天候・大雪の場合

前日及び早朝の気象状況が猛吹雪・大雪などの悪天候の場合、安全面等を考慮し臨時休園する場合があります。状況にもよりますが概ね7時 30 分までに判断し、

アプリにて連絡します。

- ・お引越される予定がある場合はなるべく早めに担任までお知らせください。
し。*場所によっては大幅にバス時刻変更しなければいけないため。
- ・お引越・新入園等によりバス時刻が変更される場合は出来るだけ早めにお知らせします。
子どもたちにとって「あかるく! たのしい!」バス運行に心掛けますので保護者の方のご協力もよろしくお願いいたします。

送り登園

登園の際は保護者の方が園までお連れください。8 時 30 分より受け入れ態勢をとっています。遅くとも9時 45 分までに登園させてください。

大きな災害対応

大きな災害=大規模地震等

保育時間中に大きな災害(概ね震度5以上)が起こった場合、保護者の方との連絡が取れない場合はお子さんを幼稚園に留めます。それ以下の場合でも著しく交通機関に影響が出た場合は幼稚園に待機させます。以外の場合は出来る限り情報収集をして帰宅困難でない場合は通常の活動に復帰
バス運行中で災害に遭遇した場合は最寄りの安全な場所に避難するとともに職員が
お子さんの身体の安全確保します。

行事等の際、災害に遭遇した場合は保護者のみなさんも職員の指示に従ってください。

全国瞬時警報システム Jアラートが発令された
場合、当園では原則、次のとおりの処置を致します。

- 保育中** 屋外に避難はせず、各クラスにて、落ち着かせ情報を収集します。
- お迎え時** 警報時点で保護者の方から、お子さんをお預かり後は幼稚園に向かいます。警報時点でお子さんをお預かりしていない場合にはお迎えはしません。極力連絡いたしますので、お子さんを連れ警報に従ってください。
- 送り時** 警報時点で保護者の方にお渡ししていない場合は、幼稚園に戻ります。

園外保育時

距離により異なりますが、原則幼稚園に戻します。
遠方の場合は園で判断出来るだけ安全な場所を選択し避難解除まで待機します。
警報が誤報である可能性が大きい場合でも、真相が判るまで上記処置をします。

連絡等の時間について

保育時間中等担任が電話対応等に追われてしまいますと子どもに接する時間がなくなってしまう。担任への連絡は緊急時以外できるだけ保育時間外にお願いします。



保育時間

午前保育の場合 午前 10 時より 11 時

1日保育の場合 午前 10 時より午後 2 時

お子さんが幼稚園にいるとき調子の悪そうに見えるとき、急な発熱の場合はご家庭へご連絡し確認しますので朝の様子等をお伝えください。容態により原則としてお迎えにきてもらいますのでよろしくお願いします。

連絡帳の取り扱いについて

ご家庭と連絡を取るひとつの方法として「れんらくちょう」も使用します。連絡の無いときはご家庭で保管しておいてください。連絡のある時には直接職員に手渡しをお願いします。書き方は発信した日付、つぎに連絡内容を簡略に書いてください。内容について原則として担任が確認をして捺印しお返しします。詳しく聞きたい事項、詳しく伝えたい事項につきましては極力保育時間外に直接、または電話でお願いいたします。重要事項については朝のうちにお願いします。担任が連絡帳にとられすぎますと電話と同じく子どもに接する時間が少なくなりますのでご理解・ご了承ください。

こぐまクラブについて

こぐまクラブ(幼児交通安全クラブ)に入会しています。交通安全についてあらゆる機会に啓蒙していきます。お母さんに交通安全の紙芝居等を読んでもらったり、お話ししてもらったりする機会もありますのでご協力お願いします。



あいさつ

あいさつは、心を伝える一番短い言葉です。頭の上から押し、もう1回!などと、やらせるよりも、「あいさつ」が自然に出てくるような心を育てることが大切です。そして、なによりも、まわりの大人が快い「あいさつ」を自然に交わしていることが、一番のお手本に違いありません。
「あいさつ」をよろしくお願いします。挨拶強化週間を設けています。



まちがえちゃった!

まちがえて他のお友達のものや園のブロック等を悪気はないのですが、持って帰っちゃったりすることたまにあります。

教職員も忘れ物等がないように気を配っていますが、もしまちがえちゃったり、忘れちゃったりしたものがありませんでしたら、恐れ入りますができるだけ、その日のうちに園までご連絡ください。

わすれもの・なくしものの取り扱いについて

わすれもの

幼稚園に忘れ物がある場合はその日のうちにお家に連絡します。

不在・不通の場合は次の日に連絡します。



お子さんが幼稚園に園服・配布物等忘れ物したと思われる場合はその日のうちに幼稚園までご連絡ください。

なくしもの

園服・園帽は登園・降園時はかばんの中にしまわずに着用・着帽させてください。

なくしものがあつた場合はその日のうちに確認し探します。

大きななくしもの場合はその日のうちにそのクラスから順に各ご家庭へ連絡します。

園服・園帽等まちがっちゃって持っていったことが考えられる場合は次の登園日まで待ってもらう旨、お伝えして次の登園日以降確認がとれない場合はどう対応するのか保護者の方に伝えます。

(アプリまたは各家庭へ電話で確認をとる等)

連絡網…予定外の場合のご連絡

予定外の事由等により各ご家庭に連絡する場合はアプリ又は園から直接教職員によりご連絡します。連絡順は事由により最も効率的な方法をとります。

独立行政法人日本スポーツ振興センター加入同意書について

独立行政法人日本スポーツ振興センター(主に保育中の怪我等があり医療機関にかかった場合の給付団体)の安全会の同意書は幼稚園で保管します。お手数をおかけしますが、入園時にお配りします独立行政法人日本スポーツ振興センターへの加入についてをご覧になり用紙の下にあります同意書にお子さんの組名・氏名・日付・保護者名を記入の上、幼稚園に提出してください。掛金につきましては年間費の中ですでに納入していただいておりますので必要ありません。

すべての物へ「なまえ」を

身につける物のほか「ハンカチ」「ティッシュ」「そとぐつ」等にもひらがなで記名をお願いいたします。まちがえてしまって、他のお友だちのものを履いてしまったりすることがあります。担任も気をつけて見ますが、すべての物に「なまえ」の記入をよろしくお願いいたします。



いただきものについて

ご旅行された際、また転出される際等の職員への、またはクラスのお友達等への贈り物等、おみやげ、お菓子等いただきものにつきましては、習慣になりかねませんので、せいかくのご好意ですが、ご遠慮いたしたいので、ご理解ご了承ください。



転出等について

お引越し等で転出、退園される場合はできるだけ早めに幼稚園にお知らせください。転出に際して提出していただく書類をお渡しします。また転居先のご住所、電話番号等をお知らせください。

・保育料引き落とし口座の停止等は幼稚園でおこないます。

届出が遅くなりますと次月も振替処理されてしまいます。

・在園証明書をお子さんの最後の登園日にお渡しします。(転出先の幼稚園に提出してください)

・年間費の一部(教材費・ブック・肝油代)をお返しします。

・退園届の提出をお願いします。



交通安全

自転車の補助無しがなくなっても、交通安全の意味がわかっていても、幼児は幼児です。大人でも注意していても交通事故にあう時代です。大丈夫と思っていても事故は一瞬で起きます。痛ましい事故の未然予防のためにも、幼児だけでの外出等は慎んでいただきたいと思います。また、幼児だけで幼稚園にくること、自転車に乗って幼児だけで幼稚園にくことは、安全上禁止しています。

ご理解ご協力ください。

出欠について

私用・病気・ケガによる場合は欠席とします。風疹・流行性耳下腺炎・インフルエンザ・その他、医療機関において欠席を指示された場合・感染症等の登園自粛期間は出席停止とします。

身内に不幸があり休園した場合3日を限度に忌引きとし、それ以上の日は欠席扱いにいたします。

「おとうばん」活動



各学年の時期に応じて、「おとうばん」活動をしています。2人1組になって朝の会のご挨拶や進行、帰りの会の進行等々「しごと」をあてています。まかされた時、責任感、達成感等を養ってもらうという意図です。おとうばんバッヂを付けて帰った次の日が「おとうばんさん」です。ご家庭でも激励・はげまし、また、ちっちゃな事でも「しごと」を与え、できた事を見とどけ、認めてあげてをよろしくお願いいたします。

「絵本」配布



全園児に月1回「絵本」をご家庭に持ち帰らせています。学年年齢にあったものを学年毎に種類は違うのですが毎月配布いたしております。料金につきましては年間費の中でいただいておりますので改めて納入の必要はございません。

「絵本」により季節を感じ、物や植物、動物、人間関係、文字や数、色や形、などを楽しみながら興味や関心を持ち情報を養ってもらいたいという意味で配布しております。

お母さんといっしょに「読み聞かせ」することにより親と子の絆も知識の吸収も助長されると思います。市販されている物もいっぱいあるのですが月刊の絵本は専門の業者により色々な角度で子どもにとってよいものという編集をしています。「絵本」のよいところはDVD またはテレビとは違いページをめくったり返したり、指をさしたり問い直したり、大切にするという気持ちを養ったりすることができます。「絵本」お子さんと一緒にお読みくださることよろしくお願いいたします。

◎お誕生日おめでとうシール◎



お誕生日当日、登園してきた際に園服に貼ります。子どもたちがわかりやすいところに貼ります。それを見てお祝いしあい、お誕生日のうれしさを共有します。

お誕生日が土曜・日曜・祝日・長期休みの日等、登園しない日の場合はその最短前日にシールを貼ります。

保護者の方が来園した際等、このシールを貼っているお子さんを見かけたときは「おたんじょうび！おめでとう！」の一言をお願いします。

お誕生会について



月に一度「お誕生会」を開催しています。みんなでお祝いしようとお母さんを招き幼稚園ホールでおこないます。

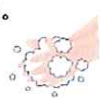
お子さんのお誕生月の「お誕生会」近くになりましたら**あぶり**でご案内いたしますので、ご出席の程よろしくお願ひいたします。その際、それぞれのご家庭で幼稚園で今日あったこと、そして明日のことを笑顔で問いかけてみたり、子どもの 会話を耳を傾けたりすることをよろしくお願ひいたします。

週末「うわぐつ」持ち帰らせています。



週末に「うわぐつ」を上靴袋にいれて持ち帰らせています。衛生上また、自分の持ち物という認識付けの意味で週1回持ち帰らせています。帰りましたら、ちょっと見てあげてください。ちっちゃなクツに幼稚園での様子が表れるときもあります。お手数ですが、これから夏に近づき、汚れ、匂い等がありましたら、お洗濯を宜しくお願ひいたします。そして、週はじめの登園日に「元気にいってらっしゃい」の一言と「うわぐつ」を持たせてあげてください。

「おてふきたおる」



衛生面を考慮し担任が保管をして必要に応じて使用しています使用しましたら持ち帰らせますのでお洗濯をし次の日に持たせてください。

「ハンカチ」「ティッシュ」を持つ習慣を持たせてください。

毎日「ハンカチ」とティッシュをお子さんに持たせてください。朝登園時にご家庭で「ハンカチ ティッシュもったあ？」の声掛けをお願いします。

グリーン DAY

毎月月初めの日をグリーン DAY としています。整理・整とんすることの大切さを認識するためにと月初めに設定しています。整理・整とんは安全面でも大切です、きれいになっていけば、なによりも、すがすがしい気分になります。おかたづけの習慣、清掃の習慣ご家庭でもよろしくお願ひいたします。

スタ Day



目的は楽しさの中から達成感や次の期待を持たせ、やる気や知的好奇心を持ってもらいたいというものです。ワーク等を利用します。

あいさつ Day



「あいさつ」の大切さ「あいさつ」の意味、「あいさつ」の種類を伝え自然にお顔を見て気持ちの良いあいさつを子ども達が楽しそうにできるように頑張ります。

日本一を目指していますのでご協力をお願いします。

えいご



英語講師が「えいご」を担当します。難しいことは何もなく！楽しく子ども達とコミュニケーションすることをモットーにしています。

交通安全教室



千歳市の交通安全指導員の指導により年長児に年2回交通安全指導が行われます。その日に学んだことは「ぶじかえる通信」が発行されますのでご家庭でもお子さんと一緒に交通安全教育の徹底をお願いいたします。

月末統計・学期末統計



月末統計・学期末統計の日には出席日数の確認、記入の為に「おはようブック」を園でお預かりし、次の日にお子さんに持たせますのでおはようブックの後ろの方にある出欠席表の保護者欄にサインをお願いいたします。また身体測定の日も記入の為に1日お預かりします。

肝油について



夏休み、冬休み等、園則に定められました長期休みの際、肝油を持たせますので、時間を決め、お母さんの手から1日 1 個ずつ与えてください。（園では降園時に与えています）

ペットボトルキャップ回収



リサイクル活動の一環としてペットボトルキャップを回収しています。玄関に回収容器を置いてありますのでご協力ください。

臨時休園・繰り上げ降園について



集団感染の恐れのある感染症等の複数名発生による場合、その他やむを得ない理由により集団感染防止・危険回避の為に休園又は繰り上げ降園する場合は**アプリ**にて決定次第連絡いたします。

しか

叱ります！



お部屋の中や、自由遊びの中で危ない事、他のおともだちが嫌がること激しい戦いごっこ・何度お話ししても理解しようとしていないときは叱ります！大きな怪我や大きな事故にならないように他の知らない人に注意されない為にも親身になって叱ります。

幼稚園の使用・配布物・回収物について

保護者の方の集まり等で幼稚園のお部屋等を使用したいときは遅くとも

1週間前にお知らせください。園外来園者・幼稚園活動上お貸しできない場合もありますのでご了承ください。また配布物等は園だより等でお知らせしている物以外、園名を使うのは責任をとれませんのでご遠慮願います。保護者が企画等いたしました回収物については担任がその責を持たすようなことも本来業務としては反しています。特に現金の回収を依頼することは保育どころではなくなりますので避けてください。

幼稚園から御家庭へ配布するプリント等について

幼稚園から保護者のみなさんに配布するものにつきましては担任業務の軽量化、配布責任等の理由により、原則、園児作品・PTA からのお知らせ・園だより・クラスだより・あおば・業者依頼のパンフレット等・試供品・教育委員会・北海道等公共機関のプリント等とさせていただきます。配布内容につきましてはお知らせします。保護者の方から頼まれましても担任業務外の事ですので対応いたしかねますのでご承知おきください。



皆勤賞

一年間、休むことなく幼稚園に通うことが出来たお子さんには卒園式・修了式で皆勤賞を授与します。



朝視診をお願いします。

視診というと堅苦しくなるのですが、朝、子どもの顔色等のチェックをお願いいたします。登園したときに職員でもおこないますが、その参考のためにもよろしくお願いたします。また、衛生上、ケガ防止等のためにも手の「つめ」足の「つめ」を短く切ってくださるようお願いいたします。



「くすり」

体調がすぐれないため医療機関で受診し、薬の投薬が必要な場合は次のとおりをお願いします。

「与薬依頼書」に必要事項を記入してお薬と一緒に直接職員に渡してください。

与薬についての約束事項

薬の投与は医療行為となり、幼稚園では原則出来ないことをご理解・承知ください。

・与薬は、医師による指示にて処方された薬に限らせていただきます。

・座薬など症状を判断して使用するものは原則として行いません。

やむを得ず使用する場合には、医師からの具体的な指示書を添付していただきます。使用にあたっては、その都度保護者にご連絡いたしますのでご了承ください。

・袋や容器には必ずわかりやすく、お子さんの名前を記名してください。

・使用する薬は、必ず1回分ずつに分け、

当日分のみをその都度、依頼書と一緒に職員に手渡してください。液状の薬も1回分に分けて下さい。

・薬を投与しましたら、確認用紙をおはようブックに貼ってお知らせいたしますのでご確認ください。

登園可能届

当園では感染症の集団感染を出来るだけ防ぐ努力をいたします。

お子さんの体調が悪く医療機関で受診し、インフルエンザ・溶連菌・プール熱・流行性耳下腺炎等、感染症にかかった場合は登園可能届に保護者の方が記入して登園可能になった日に提出して下さい。

お手を煩わせますが、集団感染源にならないためにご協力ください。

上記、投与依頼書・登園可能届は一部ずつお渡しします。複数部必要な場合は、お知らせください。必要があり幼稚園に提出された場合、未記入の用紙をお渡しします。

A 登園(校)停止が必要な感染症と登園(校)停止の基準 ※両条件に該当する場合です。

分類	病名	登園(校)停止期間のめやす
第一種	急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア等	治癒するまで
第二種	インフルエンザ*	発症した後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで(就学前乳幼児)発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで(小中高校大学)
	百日咳*	特有な咳が消える、または5日間の抗感染薬による治療終了まで
	麻疹*	発疹に伴う発熱が解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎*	腫れが出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風しん*	発疹が消失するまで
	水痘*	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱*	発熱、咽頭痛、結膜炎などの主要症状が消退した後、2日を経過するまで
* 仮し、病状により登園が感染のおそれがないと認めるときはこの限りではない		
第三種	結核	医師により感染のおそれがないと認められるまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス等	医師により感染のおそれがないと認められるまで
	腸管出血性大腸菌感染症	医師により感染のおそれがないと認められるまで
	流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	眼症状が改善し、医師により感染のおそれがないと認められるまで

C 通常、登園(校)停止の措置は必要ないと考えられる感染症

分類	病名	留意事項
第三種 その他	頭虱(あたまじらみ)	早期に虫卵を発見することが大切。タオル、くし、帽子の共有を避ける。着衣、シーツ、枕カバー、帽子の洗濯や熱処理。発見したら一斉に駆除する。
	伝染性軟属腫(みずいぼ)	原則として、プールを禁止する必要はない。ただし二次感染がある場合は禁止とする。多数の発疹のある者はプールでビート板、浮き輪、タオルの共有を避ける。浸出液がある場合は、包帯する。
	伝染性膿痂疹(とびひ)	感染伝播予防のため病巣を有効な方法で被覆し、直接接触を避けるよう指導。適切な処置をして病巣の乾燥あるいは被覆可能な場合は登園(校)可能。

B 条件によっては登園(校)停止の措置が必要と考えられる感染症 ※治療が完了(仮し、もと前にも再発したという証明のために、登園(校)を中止するようにしてください)。

分類	病名	再登園(校)のめやす	留意事項
第三種 その他	溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療開始後24時間を経て、解熱し全身状態が良好となったとき	一般的には、5〜10日間程度の抗感染の内服が推奨される
	ウイルス性肝炎	主要症状が消失し、肝機能が正常化したとき	B型肝炎、C型肝炎の無症状性病原体保有者は登園(校)停止は不要
	手足口病、ヘルパンギーナ	咽頭内でのウイルス増殖期間中飛沫感染するため、発熱や咽頭・口腔所見の強い急性期は感染源となる。解熱し全身状態が安定していれば、登園(校)停止の意義は少ないので登園(校)可能である	一般的な予防法の履行。排便中へのウイルス排泄が数週間あるので、特に排便後の手洗いを励行
	伝染性紅斑	発症期には感染力はほとんど消失しているため、発疹のみで全身状態が良好なら登園(校)は可能	妊婦への感染に注意。急性期の症状が一旦消失しても再発することがある
	マイコプラズマ感染症	感染力の強い急性期が過ぎて、症状が改善して全身状態が良好なら登園(校)は可能	
	流行性嘔吐下痢症	症状のある間が主なウィルスの排泄期間なので、下痢・嘔吐から回復し、全身状態が良好なら登園(校)は可能	手洗いを励行
	サルモネラ感染症、カンピロバクター感染症	下痢が治まり全身状態が良好なら登園(校)は可能	手洗いを励行
	急性細菌性支気管炎(RSウイルス感染症)	呼吸器症状が消失し、全身状態が良好なら登園(校)は可能	手洗いを励行
	EBウイルス感染症	解熱し全身状態が良好であれば登園(校)は可能	
	サイトメガロウイルス感染症		
	単純ヘルペス感染症	口内炎や歯肉炎のみの場合は、普通に食事が摂れれば登園(校)は可能	
	帯状疱疹	全ての発疹が痂皮化するれば登園(校)は可能	水痘に準ずる
	突発性発しん	解熱して全身状態が良好なら登園(校)は可能	

感染症類型	届出基準
1類 エボラ出血熱、ペスト、ラッサ熱など	全数把握
2類 結核、SARS、MERSなど	
3類 コレラ、細菌性赤痢、腸チフスなど	
4類 狂犬病、マラリア、A型肝炎など	
5類 梅毒、麻疹、風疹、AIDS、B型肝炎など	定点把握
季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎など	
新型インフルエンザ等	全数把握

いちごくらす (預かり保育) 申込みは**アプリ**をお願いします。
巻末の「いちごクラス」申し込みについてをご参照ください。



長期休み(春・夏・冬)預かり保育について

対象児…幼稚園の在園児

配置教職員

現教職員で対応…ローテーション方式～原則は複数(2名以上配置)

実施しない日

土(長期休みの場合)日・祝日・年末年始・お盆・幼稚園で指定した日

事前申し込みのない日…原則として事前受付対応としたい為、長期休みの場合は「えんだより」でお知らせしますので**アプリ**でお申し込みをお願いします。

教職員の休務日安定確保のため

毎月の納付金

振替日につきましては2ページ後の表でご確認ください。

JP口座より振替させていただきます。振替手数料 10 円保護者様負担でかかります。

保育料…無償 給食費…その月の実費 1食単価×日数 バス利用園児…バス維持費
毎月の上記納付金額については巻末の「毎月の納付金口座振替」について参照ください。

3歳未満児・満3歳児・プレあおばのリーフレットを御参照下さい。

・私立幼稚園就園奨励費(対象範囲・所得によって該当する場合支給されます)

PTA会費…2022年度は月 1,000 円…その年の PTA 総会で決定されます。

お茶代(昼食時のお茶代)…月 200 円

その他の諸費用

*夏園服・麦わら帽子・自由画帳(使い切った場合)・希望絵本・トレーニングウェア(運動会等着用)業者等による幹旋物・各クラブ費等につきましては希望者にその都度実費請求いたします。

*2月に進級する年中・年少児は次年度年間費として 30,960~30,930 円必要となります。

内訳 肝油代…3,000 円 学校安全会…180 円 教具教材代…11,410 円

カラー幅通園/バッチ代…820 円 ブック代…年中少 5,520 円 満3歳児 5,280 円

環境維持費 10,000 円 諸物価の上昇・消費税率によって変動もあり得ます

「PTA 会費」「クラブ費」「きぼう本」以外の消耗品・教材・バッチ等は納付金口座振替日に給食費等と合わせて振替させていただきます。

残高不足等の理由で振替不能の場合は幼稚園で発行いたします郵便振替用紙で納入していただきますようお願いいたしますので残高の確認をお願いいたします。

大変恐縮ですが払込みの場合は手数料をご負担願います。

冷房について

北海道も夏は猛暑となる日が増えています。夏の気温室温上昇時は熱中症予防・体調健康管理のため冷房設備を稼働し冷房を実施しますので 7 月から 9 月の間の冷房設備の維持管理・経営安定のため、7 月の給食費等振替日に冷房料として 1 シーズン 3,500 円(ぶれぐみは 1,750 円)の納入をお願いいたします。



暖房について

10月と2月に燃料費・ボイラー維持管理として暖房料 3,000 円(ぶれぐみは 2,000 円)の納入をお願いします。



以上、文字・文章をたくさん書いてしまいましたが、園生活の内容のところは読んで いただいて、お子さんが幼稚園から帰ってきて「ああ、このことか」と思っていただければ幸いです。



あかるく! つよく! たくましく!
ちとせあおばようちえん

令和 6 年 4 月

「いちごクラス」申し込みについて

☆お申し込みは、**連絡アプリ**よりお申し込みください。(定員30名)※利用状況によって定員を変更する場合があります(安全保育体制確保のため)。変更する場合は事前にお知らせします。

☆預かり保育受入れ時間や料金につきましては、市より受けている認定区分や下の表のいずれかで異なりますので、ご確認ください。

【利用料金】 認定区分：2号(短)・2号(標)は(保育短時間)(保育標準時間)の略です

【利用料金】認定区分：1号・新2号、2号(短)号、2号(標)号

平日		料 金		長期休み・休園		料 金		土曜日		料 金				
時間\認定区分		1号・新2号	2号(短)	2号(標)	時間\認定区分		1号・新2号	2号(短)	2号(標)	時間\認定区分		1号・新2号	2号(短)	2号(標)
朝	7時～8時	受入れなし	受入れなし		朝	7時～8時	受入れなし	受入れなし			9時～13時	500円	無償	無償
	8時～8時30分の登園	100円	100円			8時～8時30分の登園	100円	100円			※以降15分ごとに300円課金			
保育後	15時まで (※午前保育のみ)	300円	無償	無償		8時30分～12時まで	500円	無償	無償		暖房期間(11月～3月)上記金額に課金			
	16時30分まで	500円				15時まで	800円				利用ごとに150円上乗せ			
	17時まで					150円	16時30分まで				1,300円	150円		
	18時まで					450円	17時まで				18時まで		1,600円	450円
	※以降15分ごとに300円課金					※以降15分ごとに300円課金					○土曜日預かり実施日は連絡アプリで申し込みができる日となります。 申し込み締め切りは前週の水曜日までです。 ○土曜日預かりは給食がありませんので、お迎えが12時を超える場合はお弁当を持たせてください。 ○職員配置の都合上、締め切り日以降の取り消しは料金が発生します。			
	暖房期間(11月～3月)上記金額に課金					暖房期間(11月～3月)上記金額に課金								
	4時半以降のお迎え150円上乗せ(2号認定含む)					利用ごとに150円上乗せ(2号認定含む)								

【行事費等】にてご確認ください

○日曜・祝日の預かり保育は実施いたしません。休園日の実施については、【行事予定表】にてご確認ください。

○連絡アプリでのお申込みは【午後保育預かり】は当日10:00まで、【いちごモーニング(8:00～)】は当日7:40までです。時間が過ぎましても定員内であれば、お申込み出来ます。

○【いちごモーニング[2号(標)限定](7:00～)】は職員配置の都合上、**前日10時まで(前日が、土・日・祝・休園日の場合はその前日の平日) 申込み締切**です。締切日以降はお受けできませんので、お早めにお申し込み下さい。

○【午前保育の預かり保育】は、**給食注文の都合上、原則前日の10時まで(前日が、土・日・祝・休園日の場合その前日の平日)の申込み締切**です。締切以降のお申込みについては、定員を超えていない場合は預かり保育の受付は出来ますが、**お迎えが12時を超える場合、お弁当持参**となります。給食費については実費請求となりますので、申込み締め切り以降の取り消しについては、**料金が発生**します。

○アレルギー代替給食の申込みをしている方は、前月にお渡しします、成分除去チェックの献立より、午前保育で預かり保育を利用する日がありましたら合わせてチェックして頂き、連絡アプリでも預かり保育利用のお申込みをして下さい。**(原則3日前まで前日が、土・日・祝・休園日の場合、その前日の平日)が申込み締切**です。

○預かり保育を利用した場合は、バスの運行はありませんので、バス利用のお子様も送り迎えをお願いいたします。

○長期休みの預かり保育の申し込みについては、近くなりましたらお知らせ致しますので、お知らせがあるまでお申し込みは控えて下さい。

○請求につきましては、翌月の納付金口座振替日に郵便口座より引き落としとなります。(例えば、4月の預かり保育料は、5月12日に引き落としとなります。)

月初めに、連絡アプリにて請求金額をお知らせしますのでご確認ください。

○新2号認定を受けている方は、1日450円が無償となりますので、清算して請求致します。(暖房料は2号認定も無償化の対象外です。)

毎月の納付金口座振替について

毎月の納付金口座振替日に、月々の給食費や通園バス利用者のバス維持費(各表参考)・預かり保育料(月末締め翌月請求)・その他購入した物などを郵便口座より引き落としとなります。納付金口座振替日は年間行事予定表にも記載しています。近くなりましたら、連絡アプリにて引き落とし金額のお知らせをしますので、口座残高の確認をお願い致します。また、月々の給食費につきまして、市より副食費免除に該当されている方は、主食費のみを納入して頂いています。ご確認下さい。

納付金口座振替日		年間給食費内訳		給食費単価 340 円		バス利用者バス維持費 基本料金600円+バス運行日数×120円						
請求内訳 送信予定日	納付金 口座振替日	対象学年	回数	合計	合計 (主食費のみ)	備考	月	運行回数	学年	基本料金	運行日数×120円	合計
4月15日	4月19日	4月 全学年	3	1,020	306		4月	14	全学年	600	1,680	2,280
5月7日	5月13日	5月 全学年	13	4,420	1,326		5月	21	全学年	600	2,520	3,120
6月5日	6月10日	6月 全学年	14	4,760	1,428		6月	19	全学年	600	2,280	2,880
7月4日	7月10日	7月 全学年	13	4,420	1,326		7月	17	全学年	600	2,040	2,640
8月7日	8月13日	8月 全学年	3	1,020	306		8月	7	全学年	600	840	1,440
9月4日	9月10日	9月 全学年	13	4,420	1,326		9月	17	全学年	600	2,040	2,640
10月4日	10月10日	10月 全学年	17	5,780	1,734		9月	18	年長組	600	2,160	2,760
11月6日	11月11日	11月 全学年	16	5,440	1,632		10月	21	全学年	600	2,520	3,120
12月5日	12月10日	12月 全学年	11	3,740	1,122		11月	19	全学年	600	2,280	2,880
1月8日	1月14日	1月 全学年	5	1,700	510		12月	15	全学年	600	1,800	2,400
2月5日	2月10日	2月 全学年	13	4,420	1,326		1月	9	全学年	600	1,080	1,680
3月5日	3月10日	3月 年中・少	8	2,720	816		2月	18	全学年	600	2,160	2,760
3月5日	3月10日	3月 年長	7	2,380	714		3月	10	年長組	600	1,200	1,800
							3月	12	3歳組	600	1,440	2,040
							3月	13	年中・少組	600	1,560	2,160

【取決め事項】

○給食費につきまして、月単位で1か月前までに長期欠席になる旨の申し出があった場合のみ、申し出のあった月の給食費は請求しません。事務処理の都合上、欠席毎に差し引くことは出来かねますことをご了承ください。

※年長組は就学児給食：就学児学期の際、基本給食を食わずに降園となりますが、在学期で日にちが異なる事、学校によって園児の参加がない場合もある事から、園児ごとに異計することが難しい為、差し引く事が出来ませんことを、ご了解ください。

○バス維持費につきましても、欠席毎に差し引くことは出来かねます。又、バス利用にされている方は、バス停を設けていますので、休園になりましたとしても基本料金は発生いたします。1か月前までにバス利用をしない旨のお申し出により、送り迎えに変更可能ですが、その間も基本料金は発生致します。ご理解の程よろしくお願いいたします。

※朝・帰りとどちらかの利用による減免は行っておりません。

ふれぐみバス維持費・ちゅーりっぷぐみ給食費一覧

【ちゅーりっぷぐみ】

【ふれぐみ】

納付金口座振替日	
請求内訳 送信予定日	納付金 口座振替日
4月15日	4月19日
5月7日	5月13日
6月5日	6月10日
7月4日	7月10日
8月7日	8月13日
9月4日	9月10日
10月4日	10月10日
11月6日	11月11日
12月5日	12月10日
1月8日	1月14日
2月5日	2月10日
3月5日	3月10日

年間給食費内訳		給食費単価 360 円			
	対象学年	回数	合計	合計 (主食費のみ)	備考
5月	満3歳	7	2,520	756	
6月	満3歳	10	3,600	1080	
7月	満3歳	7	2,520	756	
8月	満3歳	1	360	108	
9月	満3歳	8	2,880	864	
10月	満3歳	9	3,240	972	
11月	満3歳	9	3,240	972	
12月	満3歳	6	2,160	648	
1月	満3歳	2	720	216	
2月	満3歳	7	2,520	756	
3月	満3歳	4	1,440	432	

ふれバス利用者バス料金改定 基本料金300円+バス運行日数×120円					
月	運行回数	学年	基本料金	行日数×120	合計
8月	3	ふれ	300	360	660
9月	7	ふれ	300	840	1140
10月	10	ふれ	300	1200	1500
11月	8	ふれ	300	960	1260
12月	6	ふれ	300	720	1020
1月	4	ふれ	300	480	780
2月	7	ふれ	300	840	1140
3月	5	ふれ	300	600	900

- ちゅーりっぷぐみになりましたら、月・水・金の午後保育の日は、給食を食べて降園するようになりますので、上の表をご覧ください。バス維持費については、毎日登園となりますので、他学年と同様になります。前頁の【バス利用者バス維持費】をご覧ください。
- ふれぐみは2学期より、巡回バスを利用することができます。ご利用の場合は1か月前までにお申し出ください。
- バス維持費・給食費の取り決めについては、前頁に記載の通りです。ご確認ください。



あかるく! つよく! たくましく!
すこやかに!